



あいにしや県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会 〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

プレミアム付き商品券

県内全市町村で発行準備

人づくり、社会づくり、産業づくり、道づくりを通じて「元気なちば」実現を目指す阿井伸也県議(大網白里市選出、4期)は2月県議会予算委員会でも質問に立ち、消費のカンフル剤として発行されるプレミアム付き商品券や低迷する浄化槽検査、夏の間、無料開放される有料道路などについて県担当者に質しました。有料道路の夏季無料開放では「1回きりでなく、継続して実施して欲しい」と要望しました。阿井県議の質疑と県担当者の答弁を紹介します。

プレミアム率3割が多数

阿井議員 国の緊急経済対策を踏まえた消費喚起、生活支援型交付金についてプレミアム付き商品券が奨励され、地域の消費喚起がある有効な方法であるということから、現在全国の自治体において実施されようという状況になっている。総額2500億円の国の交付金の約8割がプレミアム付き商品券になるだろうと言われ、都道府県及び市町村の人口、財政力、消費水準、寒冷地等の事情を踏まえて4対6の割合で都道府県、市町村に交付されることだ。本県では2月の補正予算にあるように県が32億円、県内市町村が57億7千万円でトータル89億7千万円のプレミアムが想定されている。他の消費に結びつく額は投入額の3倍から4倍と推定されており、本県の消費喚起や生活支援に迅速に取り組めるものと期待されている。そこで、県はどのように考えているのか。

2月県議会予算委員会



予算委員会で質問する阿井伸也県議

阿井議員 県内の全市町村が取り組み、3割のプレミアム率が多く、その次が2割ということ、例えば1万円で1万3千円分ないし1万2千円分の買い物ができる。そこで一番心配されるのが不正行為。過去にも不正があったりして、この事業を止めた市町村があると聞いているが、県はどのように考えているのか。

不正行為を排除

阿井議員 県内の全市町村が取り組み、3割のプレミアム率が多く、その次が2割ということ、例えば1万円で1万3千円分ないし1万2千円分の買い物ができる。そこで一番心配されるのが不正行為。過去にも不正があったりして、この事業を止めた市町村があると聞いているが、県はどのように考えているのか。

経済政策課長 プレミアム付き商品券については、現在、全ての市町村において、発行に向けた販売額面やプレミアム額等の検討が、また、商工会議所や金融機関等との調整などが進められていると聞いています。プレミアム率については、販売額面に3割のプレミアムを付加する市町村が多く、次いで、2割が多い状況です。

経済政策課長 今回のプレミアム付商品券事業の実施にあたっては、消費者にその目的を理解してもらうとともに、購入・使用のルールなどを周知し、さらに、取扱店等に対しては不正行為を行わない旨の誓約書の提出を求めると、今後、効果的

と思われる様々な防止策を市町村に情報提供してまいります。また、販売窓口に来られない方への対応として、公平に消費者が購入できるよう、休日の販売や抽選の実施、電話・インターネットによる予約受付など、販売方法の工夫についても市町村や商工団体に配慮をお願いしたいと考えています。

発行は6月目途

阿井議員 県民が購入して利用できるのは、いつごろの時期と想定しているか。

経済政策課長 今、仕組みを作っている最中であり、それと、印刷して周知ということになると早くても6月ぐらいかと考えています。概ねそのぐらいを目途に発行できるものではないかと考えています。

要望

阿井議員 誰もが公平に、公正に購入できる機会を得られるよう、ぜひ市町村にきちんと通達して、出来ればマニュアルを作っていたきたい。

あいにしや県議 PROFILE

- 昭和39年3月27日生まれ
- 大網小、大網中、長生高卒
- 法政大学法学部政治学科卒
- 国会議員公設秘書
- 平成23年4月千葉県議会議員選挙で4期目の当選
- 千葉県 監査委員
- 県議会 総合企画水道常任委員会委員
- ちば自民党副幹事長

県政や山武地域についてのご要望、ご意見をお寄せ下さい

あいにしや事務所

〒299-3251 大網白里市大網155
TEL0475(73)0800
FAX0475(73)1465

県民の1・4が使用の浄化槽

検査率、全国ワースト1位

阿井議員 本県の生活排水などの汚水処理状況は、平成25年度末で公共下水道を使っている人口が446万人、71・4%に対し、合併処理浄化槽を使用が80万人12・8%、単独処理浄化槽使用72万人11・5%となっている。浄化槽による生活排水の処理をしている人が合わせて152万人、24・3%となっている。約4分の1が浄化槽を使って処理をしている。河川や湖沼、そして海の水質保全のためには、

浄化槽を正しく設置して維持管理をきちりとしていただくことが大切である。浄化槽法では7条で設置後に、11条で毎年1回、検査を受けることが義務付けられている。そこでかがうが、本県における浄化槽の設置状況とその推移はどうか。特に、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換や高度処理型合併処理浄化槽の設置の状況はどうか。

水質保全課長 平成25



発言を求める阿井伸也県議

いづかです。さらに、来年度は新たに、未受検者への戸別訪問等を行う浄化槽法定検査受検促

進モデル事業を実施してまいります。阿井議員 一旦水質が悪くなると元に

戻すことは大変である。次世代のためにもぜひ浄化槽の検査率をあげていただきたい。

う修正案を示し、関係市町村等と協議を進めてまいりました。その結果、9月以降、九十九里・夷隅・安房の3地域で、末端給水事業体の統合・広域化に関する勉強会が立ち上げられ、検討が進められているところです。

県内水道料金の格差是正 水道事業体の経営安定へ 1097億円の県費投入

阿井議員 県は、これまでに県内の水道料金の格差の是正と市町村の水道事業体の経営安定化のために、どのくらいの県民の税金(単費)を投じてきたのか。

水政課長 県では、市町村等が経営する水道事業体に対して、水道料金の格差は正しく、住民負担の軽減、経営の健全化の促進を目的として、昭和52年度から市町

村水道総合対策事業補助金による支援を行ってきました。これまで、平成25年度までの累計で、延べ901事業体に対して、約1097億1700万円の補助を行いました。水道事業体の経営安定化に一定の役割を果たしてきたものと認識しています。最近の社会情勢の変化により、水道事業体は、将来を見据えた経営基盤の強化が求められています。

阿井議員 リーディングケースである一県水道局と九十九里・南房総地域の用水供給事業体の統合と末端給水事業体の広域化について、現在の取り組み状況はどうか。

阿井議員 残念ながら7条検査、それから11条検査、千葉県はなんと全国ワースト1位。7条検査が61・

2%、11条検査が6・5%の実施率となっている。この検査率をぜひとも向上させるため、県はどのように取り組むのか。

水政課長 県内水道の統合・広域化の進め方については、昨年3月、用水供給事業体の統合に加えて、末端給水事業体の統合の検討も併行して進めていくという

高料金対策補助金にどこかで終止符を打たなければ、人口減少が予想される地域のこれからの水道事業は立ち行かなくなる。今、やらなければ、将来破綻する事業体も出てくると思う。一歩とは言いえないが、部長がいる間に半歩踏み出してもいいと思うがどうか。

県道路公社有料道路 7路線、夏季無料開放 観光客誘致 7月から3カ月間

阿井議員 千葉県道路公社有料道路の夏季無料開放について、平成27年7月1日から9月30日までの夏の観光シーズンの通行を全車種、終日、無料とします。対象路線は、平成27年4月に無料開放する予定の流山有料道路と、現在、無料通行措置を実施している房総スカイラインを除く7路線です。

道路計画課長 県では、観光立県の実現を推進している中、観光のトップシーズンである夏季において、更なる誘客を図るため、7月から9月までの3か月間を無料開放することとしま

阿井議員 無料開放の実施期間をどのように決めたのか。

道路計画課長 今回の「千葉県道路公社有料道路の夏季無料開放」は、国の緊急経済対策として創設された「地域住民生活等緊急支援のための交付金」を活用して行うものです。

阿井議員 千葉県総合戦略に位置づけられないと継続は難しいのかなと思う。是非とも千葉県総合戦略に位置づけていただいて、九十九里地域の観光振興を応援していただきたい。

阿井議員 何事も継続性が大事で、一回無料でもまた来て有料だと、反動というのがある。是非とも総合戦略に織り込んでいただきたいと願っています。

阿井議員 千葉県道路公社有料道路の夏季無料開放について、平成27年7月1日から9月30日までの夏の観光シーズンの通行を全車種、終日、無料とします。対象路線は、平成27年4月に無料開放する予定の流山有料道路と、現在、無料通行措置を実施している房総スカイラインを除く7路線です。

道路計画課長 県では、観光立県の実現を推進している中、観光のトップシーズンである夏季において、更なる誘客を図るため、7月から9月までの3か月間を無料開放することとしま

阿井議員 無料開放の実施期間をどのように決めたのか。

道路計画課長 今回の「千葉県道路公社有料道路の夏季無料開放」は、国の緊急経済対策として創設された「地域住民生活等緊急支援のための交付金」を活用して行うものです。

阿井議員 千葉県総合戦略に位置づけられないと継続は難しいのかなと思う。是非とも千葉県総合戦略に位置づけていただいて、九十九里地域の観光振興を応援していただきたい。

阿井議員 何事も継続性が大事で、一回無料でもまた来て有料だと、反動というのがある。是非とも総合戦略に織り込んでいただきたいと願っています。

継続実施が必要

阿井議員 東京湾アクアラインは、年間5億円の県単費で800円に値下げを実施しているのだから、この有料道路の夏季無料開放も、観光客の誘客や地域経済の活性化のために、単発ではなく継続的に行うべきと思うがどうか。

道路計画課長 今回の「千葉県道路公社有料道路の夏季無料開放」は、国の緊急経済対策として創設された「地域住民生活等緊急支援のための交付金」を活用して行うものです。

今やらなければ 将来破綻の事業体も

阿井議員 この問題を取り上げてから13年、検討に時間を掛けすぎではないか。これだけの単費を投じてきた高料金対策補助金にどこかで終止符を打たなければ、人口減少が予想される地域のこれからの水道事業は立ち行かなくなる。今、やらなければ、将来破綻する事業体も出てくると思う。一歩とは言いえないが、部長がいる間に半歩踏み出してもいいと思うがどうか。

阿井議員 強会の進捗に関わらず、用水供給事業体の統合の検討を進めてほしい。